

保護者の皆様 へ

みよし市立三好中学校

校長 太田 予一

平成29年度全国学力・学習状況調査における本校3年生の結果について

仲秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

平成29年4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査における本校3年生の結果の概要を下記のようにお知らせします。

## 記

## 1 分析の方針

学校全体の傾向について、国・県の状況と照らしながら分析しました。

## 2 結果の概要

	主として「知識」に関する内容	主として「活用」に関する内容
国語	全体的におおむねできている。古典の種類を見抜いたり、話すための材料を交流を通して集めたりすることができる。しかし、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。	全体的におおむねできている。場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み内容を理解することができる。しかし、話の論理的構成や展開などに注意して聞くことに課題がある。
数学	全体的によくできている。特に具体的場面で一次方程式を活用することや値の範囲がよくできている。しかし、与えられた度数分布表から相対度数を求めることに課題がある。	全体的におおむねできている。与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる。しかし、筋道を立てて証明することに課題がある。
質問紙調査	<p>学習習慣については、全国・県や昨年と比較して予習や宿題をする生徒の割合は多いが、復習に時間をかけていない。復習を習慣化することで学力の定着を図っていきたい。また、国語や数学が将来役に立つと思わない生徒の割合が多い。さらに、総合的な学習の取り組みが全国・県の平均並に後退している。授業づくりで「学び合い」のある授業を工夫し、興味や関心を高め、取り組みを向上させていきたい。</p> <p>生活習慣については、例年通り全国や県の平均と比べて「家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る」と受け止めている生徒が多く、「今住んでいる地域の行事に参加している」と考えている割合が格段に高い。現在三好中学が進めている地域に根ざした学校づくりが、生徒に浸透し保護者や地域からも協力を得て成果が上がっている。課題としては、就寝時刻や睡眠時間に課題があり昨年の結果よりも後退している。また、「TVゲーム」「ネット使用」の時間が長い傾向にあり、家庭での約束等がされないまま制限が十分にかかっていない状況がある。生徒の保健委員会とPTAの保健委員会が協力して、学校保健委員会で良質な睡眠の必要性について時間をかけて学んできてはいるものの、生活習慣の改善につながってきていない。「TVゲーム」「ネット使用」については、機会があるたびに生徒や保護者に働きかけてはいるものの実効性のある取り組みになっていない。今後保護者の協力を得て、さらに進めていきたい。</p>	